

ヒートアイランド銘柄 集中豪雨で注目？

関東地方では、都心部を中心に雷を伴った集中豪雨が相次いでいたことは記憶に新しいでしょう。その背景としては、ヒートアイランド現象や地球温暖化による影響が指摘されています。ヒートアイランドが市場で話題になるたびに、同関連銘柄への投機的な動きが観測されるかもしれません。更に、ファンダメンタルズ、テクニカルともに優れていれば、テーマ性が薄れた後の値保ちも良いであろうことが想定されます。なお、ヒートアイランド関連銘柄とは、具体的に遮熱塗料、ヒートアイランド抑制舗装、屋上緑地化などを事業領域に持つものとししました。

上位5銘柄のみ抽出を行った結果、比較的バランスの良い銘柄は島津製作所<7701>となりましたが、いま少し点数の上積みが見たいものです。総合判定が「B-」以上となった際に投資を検討しても遅くないでしょう。このように、当該レポートではテーマ銘柄を分析して紹介するとともに、良くない場合は良くないと述べることもあります。

コード	社名	ファンダメンタルズ 分析判定	テクニカル・需給 分析判定	総合判定 8月12日
7701	島津製作所	52.8	62.0	C+
4623	アサヒペン	31.2	59.9	C-
8001	伊藤忠商事	50.5	40.1	C-
1835	東鉄工業	39.4	50.6	C-

島津製作所<7701> 1,045 +2

http://www.laqoo.com/login/analyze/karute_funda.php?code=7701&marketid=1

分析・計測機器大手で医用機器、航空機器にも強い。半導体・液晶関連、バイオ・環境を育成。8月7日に発表された第1四半期決算は、経常利益が前年同期比9.9%増の38.1億円となりました。国内民間需要の好調、中国を中心とするアジア、欧州において計測機器事業が堅調に推移しています。

前年同期比9.9%の経常増益という数値は、抜群に高い利益成長と言い難いでしょう。ただ、東証1部の経常増益率が2桁減に落ち込む状況下、相対的にはありませんが、優れていると言えるでしょう。それがテクニカル面、特に株価の上へのトレンドという意味で現れてくれば、テクニカル・需給分析判定の点数も上昇してきます。そうなれば、自ずと「B-」以上という総合判定を得ることができるでしょう。マーケットの評価に加え、ヒートアイランド関連という+ が付与されれば、意外に株価が大きく動く局面があるかもしれません。繰り返しになりますが、まずはテクニカル点数の上昇待ちです。